

科目名	作曲理論Ⅵ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	高橋 裕・武野 晴子	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

近現代の主な作曲家の室内楽およびコンチェルト作品の分析、研究をする。
 さまざまな楽器の組み合わせの技法や魅力を理解し、自身の作曲にその知識を活用できるようにすることを目標にする。

＝履修の条件と学習の方法＝

自分の言葉で分析が進められる様、予習をしておくこと。
 また、研究したい楽曲を自ら選ぶ、という積極性も期待したい。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルフランス近代の音楽（その1）
- 3回 フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルフランス近代の音楽（その2）
- 4回 フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルフランス近代の音楽（その3）
- 5回 フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルフランス近代の音楽（その4）
- 6回 フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルフランス近代の音楽（その5）
- 7回 シェーンベルク等の新ウィーン楽派（その1）
- 8回 シェーンベルク等の新ウィーン楽派（その2）
- 9回 シェーンベルク等の新ウィーン楽派（その3）
- 10回 シェーンベルク等の新ウィーン楽派（その4）
- 11回 バルトークの楽曲研究（その1）
- 12回 バルトークの楽曲研究（その2）
- 13回 バルトークの楽曲研究（その3）
- 14回 バルトークの楽曲研究（その4）
- 15回 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

平常点（授業への積極的参加姿勢） 70%
 レポート提出 30%

＝テキスト（必携）＝

特になし